

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1.(1)】:OPEN YOKOHAMA ひと・もの・ことがつながり、うごき、時代に先駆ける価値を生み出す「みなと」
 <2050年「都市の世紀」をリードする横浜の先進性と突破力> たゆみなく社会を変革する「市民力」により、新しいシステムやサービスを成熟したまちに織り込んでいく「都市のリノベーション」を実践しています。
 <安心で高品質な生活基盤が支える幸せな市民生活> 情報技術と融合した横浜産で低炭素型のエネルギーネットワークや、地域の人が手を携え、高齢者や障害者、若者や子どもたちを切れ目なく支える仕組みなどにより、幸せな市民生活が支えられています。
 <成長産業と文化芸術空間が広がる人・都市の交流> 環境技術やライフイノベーションなど、横浜の強みを活かした産業の創出や、一流の文化芸術を堪能できる空間により、人・都市の交流が生まれています。
 <多彩な地域の魅力の「つながり」がつくる横浜の創造力> 水や緑、港や歴史ある建物などのある空間が、低炭素型交通網、スマートグリッドや高度情報網でつながり、私たちの創造力の源となっています。
 <開港の歴史と経験が礎となった環境未来都市としての姿勢> 様々なひと・もの・ことが行き交う「みなと」として、多様性を受け止めながら、新しい価値を生み出し続けます。

①-1
 課題・目標・取組方針【1.(2)】
 <分類>環境
 <課題・目標>低炭素・省エネルギー
 ○温室効果ガスの排出が大きく削減している低炭素なまち「スマートシティ」の域域全体での実現
 ○都市の規模を問わず多様な街区タイプに導入可能なスマートシティソリューションの確立
 ○エネルギー管理技術の展開・活用を通じた震災被災地の早期の復興、新たな都市づくりへの貢献
 ○港湾運営におけるCO2排出の大幅削減により環境負荷の少ない国際貿易港としての地位の確立
 <取組方針>
 ○再生可能エネルギーの大規模導入
 ○蓄電・蓄熱機能整備や需要家行動の促進による地域エネルギーマネジメントシステムの構築
 ○蓄電池としての活用もきめたEVの普及・利活用の推進
 ○特定電気事業の検討・実施などによる減災性・エネルギーの自立性・自律性の向上
 ○港湾運営における低炭素化の推進

①-2
 課題・目標・取組方針【1.(2)】
 <分類>環境
 <課題・目標>水・大気
 ○上下水道技術の海外展開支援による国際的課題である水問題の解決への貢献
 ○上下水道技術のみならず都市インフラ全体も含めた、都市のニーズ・インフラ整備状況に応じたサービスパッケージの形成・普及
 ○低炭素型・水多様性貢献型の上下水道技術の確立
 ○景観、にぎわい、水環境にすぐれた「きれいな海」の復活
 <取組方針>
 ○公民連携による海外水ビジネス展開支援や下水道分野における「国際戦略拠点」の設置
 ○環境に配慮した都市づくりの交流拠点となるためのプロモーション等の推進
 ○省エネ型水道マネジメントの構築
 ○港周辺の浅海域や緑地を舞台としたムーブメントの展開

②
 課題・目標・取組方針【1.(2)】
 <分類>超高齢化
 <課題・目標>地域の介護・福祉
 ○住み慣れた身近な地域における、子どもから高齢者までの全世代の「つながり」の実感、市民の安心生活の実現
 ○郊外住宅地での暮らしの快適さから横浜都心の魅力・利便性が一体的に享受できる、コンパクトなまちの形成
 <取組方針>
 ○高齢者・障害者・子どもなど、地域の全ての人の身近なつながり・支え合いの仕組みによる安心生活の実現
 ○人口減少・少子高齢社会を見据えたコンパクトなまち・都市づくり
 ○市民が主体となった地域運営による、持続可能なコミュニティの形成
 ○生活を支える地域交通、医療連携システムなどの構築
 ○横浜の特性を踏まえた身近な農的空間の活用

③-1
 課題・目標・取組方針【1.(2)】
 <分類>その他
 <課題・目標>クリエイティビティ
 ○市民・NPO・企業などオール横浜での協働による、世界に通用するオンリーワン・ナンバーワンの魅力発信
 ○開放性・多様性・国際性など、横浜らしさを表す海や港、文化資源を生かした地域や経済の活性化
 ○歴史と水辺の環境を生かした都市空間の形成
 ○アーティスト、クリエイター、起業家等クリエイティブな人々が集まるチャンスあるまちの実現
 ○MICE拠点都市としての国際的な地位の確立
 <取組方針>
 ○文化芸術・まちづくり・創造的産業支援の三位一体による都市の活性化
 ○アジア地域を対象とした観光プロモーションの実施
 ○国際コンベンションを軸としたMICE全般の誘致

③-2
 課題・目標・取組方針【1.(2)】
 <分類>その他
 <課題・目標>チャレンジ
 ○ワーク・ライフ・バランスの推進、女性の活躍による新しい価値創造の促進を通じた、市内企業の競争力を強化
 ○高齢者が社会貢献できる環境整備など、人の活力による地域経済の基盤強化
 ○環境やライフサイエンス分野を中心に市内企業の技術・経営改革を促すことによる、将来に布石を打つ成長産業を強化
 ○横浜港のハブポート化による国際競争力の強化と東北方面の経済復興支援
 <取組方針>
 ○低炭素化と地域経済活性化を両立するための、低炭素化・省エネ技術の革新を行う市内企業への支援や企業誘致
 ○ワークライフバランスを推進する制度をもつなど、新しい働き方を導入する企業の積極的な誘致
 ○地域課題を解決する介護や見守り等のソーシャルビジネスの振興
 ○義務教育から大学院まで、市立学校の連携による新しい時代の横浜を支える人材育成
 ○国際競争力向上に向けた貨物集荷力・輸送経路(道路・鉄道など)の強化

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】
 a.地域エネルギーマネジメントシステムの構築・普及<取組番号1>
 多様な地勢を擁する既存市街地における日本型スマートグリッドの構築プロジェクトを大規模な市民参加を得ながら加速化する。また、それらの技術等の展開・活用を通じて震災被災地の復興に貢献するとともに、分散型電源の導入や特定電気事業の検討実施により、既存街区におけるエネルギーの自立性・自律性の向上を図る。
 ○東日本大震災被災地と連携したスマートシティ等の先導的復興モデル事業
 ○みなとみらい(MM)21及び周辺地区のエネルギー自立強化
 ○大規模な市民(需要家)参加によるスマートグリッド構築
 ○横浜グリーンパワー事業(太陽光発電等を市民に安価で提供する仕組み)
 b.電気自動車(EV)の普及・利活用<取組番号2>
 EV導入補助、EV充電インフラ整備のための充電設備導入補助や、非接触充電等の次世代の充電インフラ整備に関する研究・実証を支援する。
 c.低炭素化による「選ばれる港づくり」<取組番号3>
 横浜港において温室効果ガス削減効果の高い機器の導入を進めるとともに、横浜港におけるメガソーラー事業を実施し、「選ばれる港」を目指す。

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】
 a.下水道技術の国際戦略拠点設置・公民連携による海外水ビジネス展開支援<取組番号4>
 下水道技術の国際戦略拠点を設置するとともに、公民連携による横浜水ビジネス協議会を設置し、民間企業の水ビジネスを支援する。
 b.先進的都市インフラ技術の海外展開<取組番号5>
 人材育成による海外都市の上下水道事業体能力開発や、技術力・ノウハウの海外展開により、海外における水道事情の課題解決に貢献する。
 c.公民連携による新興国の課題解決<取組番号6>
 横浜市のリソース・技術を活用した公民連携による国際技術協力を通じて、新興国の都市課題解決の支援と市内経済の活性化に向けた取組を推進する。

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】
 a.身近なつながり・支え合いの仕組みづくり<取組番号11>
 高齢者が地域のつながりづくりの主役となるよう横浜型高齢者活躍プロジェクト(高齢者自ら壮年期から健康づくりを行い、地域の支え合い活動などに参加するよう促すための仕組みづくり)を実施するとともに、介護が必要になっても住み続けられる横浜型支え合い住宅(介護医療サービスだけでなく、多世代が入居し地域交流スペースも併設されている高齢者向け住宅)の整備や地域の子育て、障害者支援などを通じて地域のつながりを実現する。
 1. 横浜型高齢者活躍プロジェクトの実施
 2. 横浜型支え合い住宅(仮称)の整備
 3. 障害者の地域生活を支えるセーフティネットの形成
 4. 地域における子育て支援の充実
 5. 子ども・若者の育成支援の充実
 6. 児童虐待の防止
 b.大都市(横浜)型の地域介護・医療連携システムの構築<取組番号12>
 病病・病診連携による地域医療連携システムや認知症高齢者等を地域で支える介護・医療連携ネットワークを構築し大都市における在宅生活を支える。
 c.持続可能な住宅地モデルプロジェクト<取組番号13>
 大規模団地や鉄道沿線において、地域活動拠点の整備やコンパクトな市街地形成など、超高齢化に対応したまちづくりのモデルづくりを目指す。
 ○大規模団地再生・鉄道沿線・コンパクトなまちづくり
 ○元気な地域づくり推進事業

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】
 a.質の高い文化芸術による横浜ブランドの発信<取組番号16>
 新たな芸術フェスティバルの開催など、横浜から世界最高水準の文化芸術を開催することにより、横浜のブランド力を高め国内外に発信する。
 b.文化芸術の創造性と地域力を生かしたまちの再生(初音・日ノ出町)<取組番号17>
 アーティスト等への空き店舗等貸し出しやアートイベントの開催により、違法飲食店街の再生とにぎわいの創出を行う。
 c.歴史的建造物や倉庫、空きビル等を活用し、アーティスト・クリエイター等が創作・発表・滞在する創造界隈の形成<取組番号18>
 東横線廃線跡地の活用や、歴史的建造物の改修、空き民間ビルのリノベーションによって、アーティスト等が創作・発表・滞在する場を形成する。

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】
 a.高付加価値型グローバル企業の積極的誘致に向けた拠点整備<取組番号22>
 高付加価値型グローバル企業のアジア拠点機能の誘致を促進し、その受け皿となる横浜駅周辺地区、みなとみらい21地区などで都市再生を進める。
 b.(東北方面の経済復興支援も含めた)横浜港の国際競争力の強化<取組番号23>
 東北方面への物流支援を含めた国内貨物等の集中化などによって、国際基幹航路の維持・拡大等を図り、横浜港の国際競争力を強化する。
 c.健康危機管理体制での実装などを通じた産官学連携によるフォトニクスポリマー技術開発の推進<取組番号24>
 光ファイバー・フォトニクスポリマー技術開発について、衛生研究所への実装を手がかりとして、世界最高性能プラスチック光ファイバー(POF)及び低消費電力の高精細・大画面ディスプレイの実用化を目指す。

	<p>d.環境にやさしい水道システムの構築<取組番号7> 自然流下系施設の優先的利用、再生可能エネルギーの導入、水道施設の効率的な運用等により、環境負荷が少ない経済的な水道システムを構築する。</p>	<p>d.市民に身近な地域におけるきめ細かな交通機能の強化<取組番号14> バス路線維持、駅周辺のバリアフリー化、公共交通機関の利用促進施策などを通じ、誰もが安全・安心に利用できる交通体系を実現する。 1. 地域交通サポート(住民主導による地域交通手段導入支援) 2. バリアフリー歩行空間整備事業 3. モビリティマネジメント 4. 超小型モビリティの有用性の検証と普及促進 5. (再掲)コミュニティサイクルを活用したまちのにぎわいづくり</p>	<p>d.都心臨海部を舞台とした、創造的活動の積極的な誘導による国際的な観光交流拠点の形成(ナショナルアートパーク構想の推進)<取組番号19> 横浜港発祥の地である象の鼻地区等、開港の歴史を持つ地域資源を活かした文化芸術活動の発信の場(文化観光交流拠点)を整備することにより、創造的都市空間を生み出し、観光資源の発掘を行う。</p>	<p>d.技術移転パートナー企業育成事業<取組番号25> 横浜市総合リハビリテーションセンターと大学等の連携により、環境配慮型の福祉機器等の開発を行い、パートナー企業へ技術移転を行う制度を創設する。</p>
	<p>e.下水資源の有効活用、温暖化対策<取組番号8> 下水汚泥処理の燃料化や消化ガス発電等の下水道資源の有効活用、排熱の有効利用、再生可能エネルギーの導入等により、環境負荷が少ない下水道システムを構築する。</p>	<p>e.農的空間を活用した都市政策<取組番号15> 大都市でありながら、広域に広がる農地と市街地が近接するという特徴を活かし、市民の農業体験などのゆとりある豊かな都市生活を構築する。</p>	<p>e.世界の人々が交流する国際観光・MICE都市の実現<取組番号20> MICE誘致・開催支援、海外集客プロモーション、観光資源の魅力アップに取り組むことにより、海外誘客を推進し、経済活性化につなげる。</p>	<p>e.脱温暖化～成長分野を捉えた中小企業のイノベーション促進<取組番号26> 横浜スマートシティPJへの中小企業の参画推進、低炭素化・健康分野での新技術開発支援、京浜臨海部でのバイオ医薬品開発拠点の形成などを行う。</p>
	<p>f.きれいな海づくり<取組番号9> 横浜港の山下公園前・金沢付近などをモデル地区として、浅海部に着目した市民参加による海づくりを進めるとともに、下水処理の高度処理化等により、水質浄化・海岸再生(きれいな海づくり)を行う。</p>	<p>f.(再掲)女性の自立・就労支援、女性起業家の成長支援<取組番号29> 働く女性のためのセミナー開催、男女ともに働きやすい企業の認定、女性企業家へのオフィススペース提供などを行う。</p>	<p>f.コミュニティサイクルを活用したまちのにぎわいづくり<取組番号21> 民間事業者との協働により中心部で行っているコミュニティサイクルの社会実験を本格化し、回遊性の向上や観光振興への寄与により、まちのにぎわいづくりを推進する。</p>	<p>f.横浜グリーンバレー構想<取組番号27> 環境・エネルギー産業の育成・展開、エネルギー施策の展開、環境啓発拠点の創出を柱とする取組により、産官学民協働で横浜臨海部を再生可能エネルギー技術のバイオエリアとしていく。</p>
	<p>g.つながりの森構想(市民協働による円海山近郊緑地の保全)<取組番号10> 横浜港・相模湾に注ぐ河川の水源である森を「つながりの森」として位置づけ、森を支えている活動団体のつながりの強化、貴重な動植物の生息・生育地の保全管理、エコツーリズム等の体験型プログラム等を実施する。</p>	<p>g.(再掲)地域エネルギーマネジメントシステムの構築・普及<取組番号1> 多様な地勢を擁する既成市街地における日本型スマートグリッドの構築プロジェクトを大規模な市民参加を得ながら加速化する。</p>	<p>g.(再掲)地域エネルギーマネジメントシステムの構築・普及<取組番号1> 多様な地勢を擁する既成市街地における日本型スマートグリッドの構築プロジェクトを大規模な市民参加を得ながら加速化する。</p>	<p>g.横浜らしい教育による「環境未来都市『横浜』を支える人材の育成<取組番号28> 横浜の特色や毎日の生活の中から問題を見つけ、課題解決をしていく横浜らしい学習などを推進していく。</p>
	<p>h.(再掲)地域エネルギーマネジメントシステムの構築・普及<取組番号1> 多様な地勢を擁する既成市街地における日本型スマートグリッドの構築プロジェクトを大規模な市民参加を得ながら加速化する。</p>			<p>h.女性の自立・就労支援、女性起業家の成長支援<取組番号29> 働く女性のためのセミナー開催、男女ともに働きやすい企業の認定、女性企業家へのオフィススペース提供などを行う。</p>
				<p>i.(再掲)身近なつながり・支え合いの仕組みづくり～横浜型高齢者活躍プロジェクトの実施～<取組番号11> 高齢者等が進んで健康づくりや新たな社会貢献活動などに取り組むための仕組みを構築する。</p>
				<p>i.(再掲)地域エネルギーマネジメントシステムの構築・普及<取組番号1> 多様な地勢を擁する既成市街地における日本型スマートグリッドの構築プロジェクトを大規模な市民参加を得ながら加速化する。</p>

※2. (1)①取組内容のみ記載すること
 ※再掲可

- 複数の課題・目標を一体的に進める事項(相乗効果や副次的効果についての簡単な解説を含む)【1. (3)①】
- ・<①-1、②>スマートグリッドの情報通信網を健康管理・介護・医療・防犯等のサービスや、交通情報・イベント情報の提供サービスに活用することにより、地域における安心な生活とつながりの強化が実現する。
 - ・<①-2、②>豊かな自然環境の維持・向上のための活動を通して、高齢者等の雇用の場が創出されるとともに、心身の健康の増進や多世代交流による地域のつながりの強化が実現する。
 - ・<①-1、①-2、③-1>アーティスト等がスマートグリッド技術に係るデザイン調整に参画することは、環境と文化芸術・デザインの融合という新たな価値を創出する。
 また、美しい港、歴史的建造物などデザインの優れた景観、質の高い水際・緑が鮮やかな対比をなす活動空間は、MICEの誘致や高付加価値産業の研究・開発視点の誘致に寄与する。
 - ・<②、③-2>研究開発やものづくり産業等に従事してきた高齢者と企業をマッチングするなど、高齢者の社会への参画を促す取組により、高齢者の活躍の場が創出されるとともに、経済活性化にも寄与する。
 - ・<①-1、①-2、③-2>スマートグリッドや上下水道技術等の環境配慮型技術の需要を創出することにより、中小企業が有する優れた要素技術の連携が進み、新しいビジネスチャンスが創出される。